

特別号

# Nutrition Support Times



## チーム医療推進!

### やるぞ! NST!!

# 2009年は一致団結だ

## チェアマン今年の第一声

皆様、遅くなりましたがあげましておめでとうございます。昨年度の NST コンサルト件数 118 件でした。一昨年と比してやや減少しています。これも我々の努力不足と反省しております

昨年度の変化としましては、嚥下回診が1年間継続し、呼吸器内科の先生まで加わっていただいたこと、サテライトチームが8西で活動し始めたこと、はっきりと数字ではお伝えにくいですが、TPN 管理の患者さんが減少し、経腸栄養管理の患者さんがふえたこと、また褥瘡チームと共同が深まったこと、PEG チームができたことでしょうか。昨年の目標としてあげていた、呼吸器栄養療法チームの活動は実現できませんでしたが、今後徐々に進めていければと思っています。また、マニュアルに関してですが、かなり大まかなもののみできました。また、人事的な面では嚥下障害対策チームのリーダーをしていただいていた葛谷先生が異動され、かわりに荒木先生がご着任されたことでしょうか。また ST の常峰さん、PT の清水さんが退職され、ST の小西さんが着任されました。この病院ではメンバーが入れ替わっていくのは仕方ないところがありますが、やはり寂しいですね。

今年の目標としては、NST 担当制を開始します。具体的には、NST コンサルトしていただいた患者さんが状況が安定するまでの数週間、NST 専門療法士の資格を持つ管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師により患者さん毎個別に栄養管理についてサポートします。当然主治医の先生方、病棟のリンクナース

の方々のご理解、ご協力が必要ですが、よりきめ細やかな栄養サポートがお届けできると考えますのでなにとぞご協力のほどお願いいたします。また、各患者さんの栄養管理についてご質問などあれば担当 NST 専門療法士におたずねください。NST からのコメントに担当者名を明記するように 2/18 よりしていきます。

なお NST 担当制に関しては来年度から正式に開始しますが、すでに徐々に試験的に開始しております。また、来年度、経腸栄養剤の見直しを大々的に行おうと考えています。詳しくは翌月号に掲載しますが、DPC 開始に関係します。

また、来年度から再来年度にかけて、各病態での栄養投与のマニュアルもしくは指針を徐々に作っていきたくと思っています。また、現在新病院における栄養部門、nutritional care management の計画策定を栄養管理委員会とともに検討しています。新病院ではできるだけ患者さんに有益かつ医師の皆さんが楽に適切な栄養量法を行っていただけるようにしていきたいと思っています。

来月号で NST 専門療法士、NST 担当制、DPC 後の栄養療法の変化についておつたえします。

今後とも NST に対するご協力、ご支援のほどなにとぞよろしくお願い申し上げます。

## チェアマンとともに

NST 活動をしてメンバーと一緒にいると栄養療法も大分浸透してきたかなあ、と錯覚に陥ることがあります。それは未だにアミノ酸が全くゼロの末梢輸液がされて何日もたつ患者さんがおられました。お気の毒に。NST のメンバーが誰かいれば何とかなったかも? 先日もアミノ酸が足りませんよと提案していたのを無視されていたケースもあり、主治医に直接誰かが伝えることの必要性を改めて感じるとともに、栄養を考えていない医師の多さに愕然としました。基本理念のとおり全人的な医療を目指してもらうためにも、チェアマン! がんばりましょうね。

私たちは  
チェアマンと  
ともにがん  
ばります!



一致団結!!  
チーム医療・  
栄養は医療  
の基本だ!